

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-63155

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)5月2日

A 47 L 11/08

8008-3B

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 手動掃除機

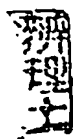
⑯ 実 願 昭58-154648

⑰ 出 願 昭58(1983)10月4日

⑱ 考 案 者 岩 田 良 三 八尾市西山本町2丁目7番12号 株式会社岩田良内

⑲ 出 願 人 株 式 会 社 岩 田 良 八尾市西山本町2丁目7番12号

⑳ 代 理 人 弁 理 士 鈴 江 孝 一 外3名



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

手動掃除機

### 2. 実用新案登録請求の範囲

下面が開口した機函と、この機函の前部に上面が開口して形成された小物収容室と、この小物収容室の開口を覆う着脱自在のカバーと、前記機函における小物収容部の後方に配置され前記機函の側壁に回転自在に軸止され機函の側壁との間に間隙を有する回転ブラシと、この回転ブラシと前記機函の側壁との空間部に配置され前記回転ブラシと同心に固着された従動輪と、この従動輪の前方にアームを介して揺動自在に前記機函に取り付けられ機函全体の前方移動によって床面および前記従動輪に接触し従動輪を駆動する駆動輪と、前記回転ブラシの後方に配置され前部が前記機函の側壁に軸止され後部が前記機函に係脱自在に係合されて機函に取り付けられ前縁部にくし歯部を有する塵受箱と、この塵受箱の下面に回転自在に軸止され



た車輪とを具備したことを特徴とする手動掃除機。

### 3. 考案の詳細な説明

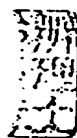
本考案は手動掃除機の改良に関する。

従来から第1図に示すような手動掃除機が使用されている。この手動掃除機は、下面の開放する扁平な機函1の下面に、回転ブラシ2と、塵受箱と、回転ブラシ2に回転を与えると共に機函1を床上に支持するための転動輪4を備え、機函1の頂面には機函を操作するための長いハンドル5を備えた構成となっている。

ところが、このような従来例では回転ブラシ2に付着した糸くず等を取除くためのブラシ等の小物を収納することができず、使用に際して不便であるという不具合があった。

本考案は以上の事情を考慮してなされたものであって、その目的とするところは、機函の前部に小物収容部を設けるようにする点にある。

この目的を達成するために本考案は次のように構成されている。すなわち、下面が開口した機函と、この機函の前部に上面が開口して形成された



小物収容室と、この小物収容室の開口を覆う着脱自在のカバーと、前記機函における小物収容部の後方に配置され前記機函の側壁に回転自在に軸支され機函の側壁との間に間隙を有する回転ブラシと、この回転ブラシと前記機函の側壁との間隙に配置され前記回転ブラシと同心に固着された従動輪と、この従動輪の前方にアームを介して揺動自在に前記機函に取付けられ機函全体の前方移動によって床面および前記従動輪に接触し従動輪を駆使する駆動輪と、前記回転ブラシの後方に配置され前部が前記機函の側面に軸支され後部が前記機函に係脱自在に係合されて機函に取付けられ前縁部にくし歯部を有する塵受箱と、この塵受箱の下面に回転自在に軸支された車輪とを具備したものである。

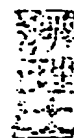
以下、第2図ないし第4図を参照して本考案の一実施例を説明する。第2図は手動掃除機の裏面図であって、10は機函である。この機函10は下面が開口した容器状をなし、合成樹脂で製せられている。そして矢印A方向が機函10の前方で



ある。

このような機能 10 の前部には小物収容部 11 が一体成形で設けられており、この小物収容部 11 は上面が開口して形成されている。この小物収容部 11 の開口にはカバー 12 が着脱自在に設けられている。そして、小物収容部 11 の後方には回転ブラシ 13 が機能 10 の側壁に回転自在に軸支されている。この回転ブラシ 13 の後方には塵受箱 14 が設けられている。この塵受箱 14 は前部側面に突設されたピン 15 で機能 10 に回転自在に軸支されるとともに、後部に形成された係合部 16 を機能 10 に係脱自在に係合させて取付けられている。また、塵受箱 14 の前縁にはくし歯部 17 が突設されており、このくし歯部 17 で回転ブラシ 13 に付着した塵芥を取除き塵受箱 14 内に落下させるようになっている。さらに、機能 10 の上面側にはハンドル取付部 18 が軸 19 を中心として回転自在に取付けられている。

前記回転ブラシ 13、小物収容部 11 の横幅は機能 10 の側面との間に空間を存するように設定



されており、この空間部には前記回転ブラシ 13 と同心に固着された従動輪 20 が設けられている。この従動輪 20 の前方には第 4 図に示すようにアーム 21 を介して揺動自在にゴム製の転動輪 22 が設けられている。この転動輪 22 は機函 10 下面から突出しており、機函 10 の前方移動により後方へ移動して前記従動輪 20 に押圧され、転動輪 22 の回転を従動輪 20 に伝達するようになっている。また、アーム 21 はブラケット 22 を介して機函 10 に取付けられている。さらに、前記塵受箱 14 の後方には車輪 24 が回転自在に取付けられている。

このような一実施例は次の作用効果を奏する。すなわち、機函 10 には小物収容部 11 が設けられているので、この小物収容部 11 に回転ブラシ 13 の清掃用ブラシ等の小物を収容することができ、使用に際して便利である。また、従動輪 20 は転動輪 22 によって機函 10 の前方移動時のみ駆動されるので回転ブラシ 13 の後方に配置された塵受箱 14 内に塵芥を落下させることができる。



以上説明したように本考案によれば、小物類を収納する小物収容部が機函に設けられた手動掃除機を提供でき、その実用上の効果は大である。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は従来例を示す斜視図、第2図および第4図は本考案の一実施例を示す図で、第2図は裏面図、第3図は第2図のⅢ—Ⅲ断面図、第4図は第2図のⅣ—Ⅳ断面図である。

10…機函

11…小物収容部

12…カバー

13…回転ブラシ

14…塵受部

15…ピン

16…係合体

17…くし歯部

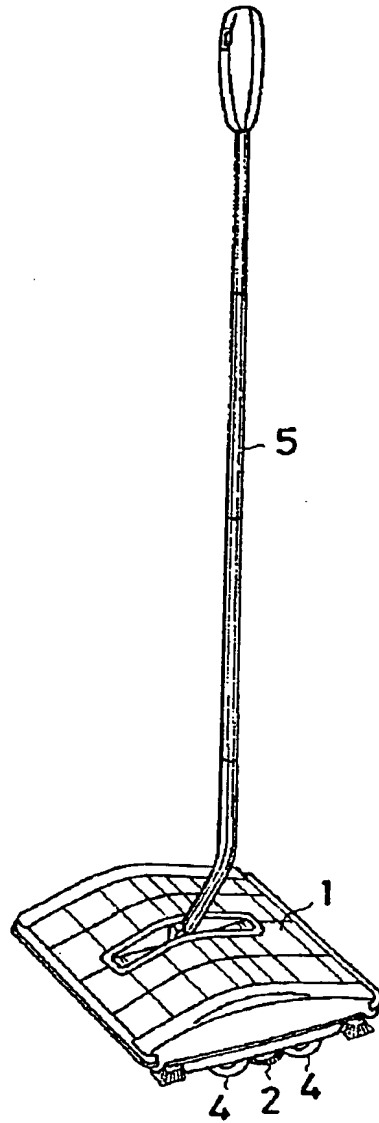
20…従動輪

22…転動輪

24…車輪

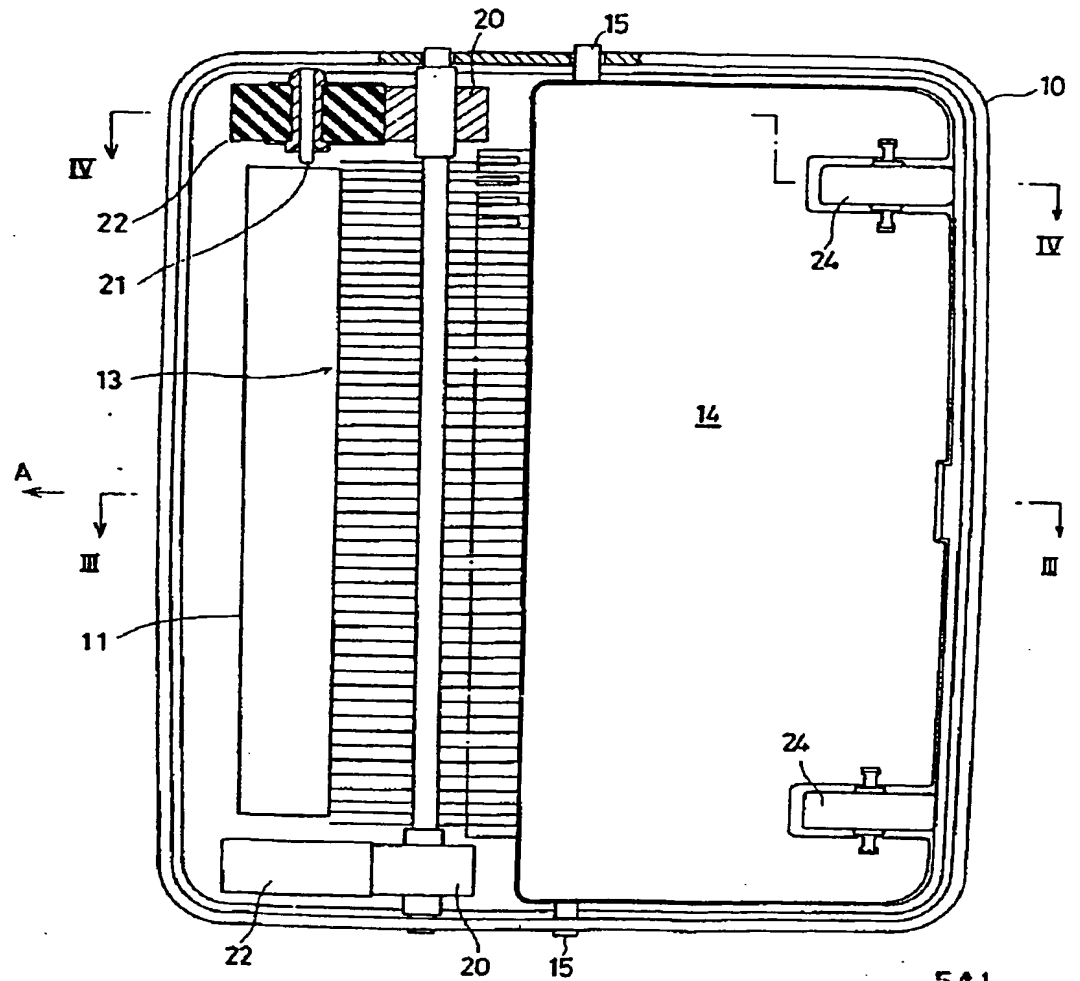


第 1 図



540  
実開 60-63155  
代理人 弁理士 鈴江孝一

第 2 図

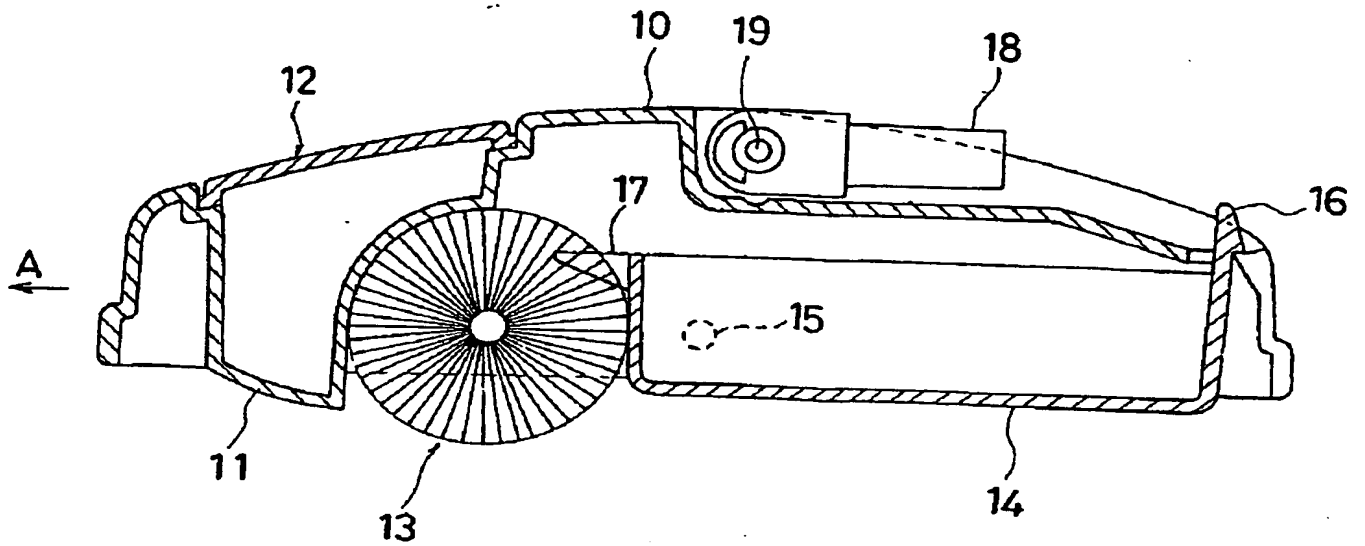


541

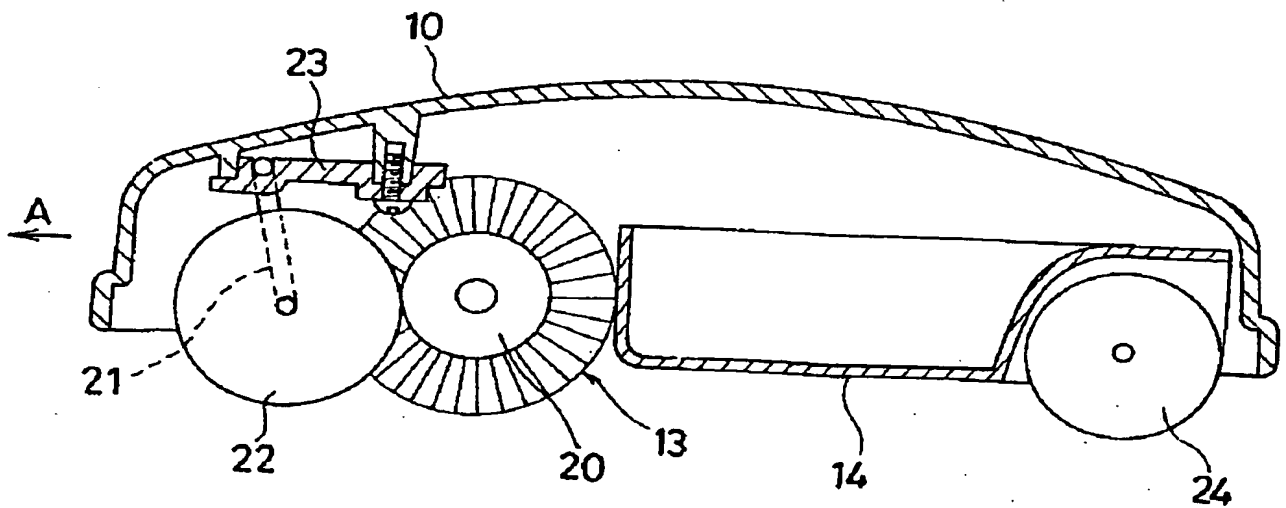
実開 60-63155

代理人 弁理士 鈴江幸一

第 3 図



第 4 図



542

実開 60-63155

代理人 弁理士 鈴江